

平成26年度家庭教育応援プロジェクト 第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議

◇日時

平成26年11月28日（金）
13:30～16:20

◇会場

郡山市労働福祉会館

本年度よりスタートしました「地域でつながる家庭教育応援事業」の一つである『第2回地域家庭教育推進県中ブロック会議』を開催いたしました。

今回の会議では、家庭教育の推進や地域教育力の向上に向け、PTAと連携した「親の学び」を支援するため講座の取組状況や推進するための県中地区としての具体的手立て等について検討いたしました。

PTA・学校・地域の子どもに関わっている諸団体・家庭教育支援ボランティア実践者・企業の代表者からなる推進委員の皆様からは、昨年度までの取組をもとに、事業の推進に向けて貴重な御意見をいただきました。



【出席者】

- 幼児教育アドバイザー（学識経験者） * 県中ブロック会議のアドバイザー
- 郡山市PTA連合会長（郡山市立小原田小学校PTA会長）
- 石川郡連合PTA会計（平田村立蓬田中学校PTA会長）
- 田村地方PTA連合会副会長（三春町立岩江中学校PTA会長）
- 郡山市こども会育成連絡協議会長
- 郡山市スポーツ少年団副理事長
- 郡山市片平地区主任児童委員
- 石川町主任児童委員
- 郡山警察署生活安全課専門少年警察補導員
- 須賀川市放課後子ども教室（あすなろ）コーディネーター
- 家庭教育支援県中協議会会長
- 天栄村立大里小学校教頭

【日 程】

時 間	内 容	
13:30～	開会行事	○主催者あいさつ（次長）
13:40～	親子の学び応援講座 について	○実施報告・質疑 ◇天栄村立大里小学校PTA ◇玉川村立須釜小学校PTA ○石川町立沢田小学校での実施案内
13:50～	協 議	課題解決に向けての取組について ○地域家庭教育推進県中ブロック会議からの提案について ○PTAと連携した取組について
14:30～	情報提供	義務教育課「学力向上のための『つなぐ教育』推進事業 について
15:00～	情報提供	家庭教育応援企業推進活動について
16:20～		○御礼のことば ○諸連絡 ・第2回ブロック会議の内容について

親子の学び応援講座について

◇実施報告

【天栄村立大里小学校PTA】

『実践活動のテーマ』子どもの望ましい生活習慣づくり

『教育講演会』実施日：平成26年10月25日（日）11:00～12:00

講 師：福田 一彦 氏 江戸川大学社会学部教授 人間心理学科長

演 題：規則正しい生活習慣が子どもの学力を伸ばす

- 保護者の関心に合わせテーマを設定し、講座及び実践活動に取り組んだ。
- 実家庭数から考えると高い参加率であった。
- 講演会により生活と睡眠についての深い関わりが実感できた。また、LEDからの青い光が睡眠に与える影響についての理解も深まり、メディア等との関わりを考える機会となった。
- 講演会后、教育相談時に話題にして保護者と考えていった。また、内容を地域にも学校だよりとして配布し、広く理解を得た。
- 天栄村では「ノーメディアデー」に取り組んでいる。今年度は、月ごとに決めた週の中の1日に、5つのチャレンジ内容から一つ選んでチャレンジしている。
- 講座や実践活動を実施し、子どもの生活習慣に関する保護者の関心や意識が高まってきている。今後も取組への意識を高めながらマンネリ化にならないよう取り組んでいきたい。

【玉川村立須釜小学校PTA】

『実践活動のテーマ』子どもの健やかな成長とゲームや携帯の影響

『教育講演会』実施日：平成26年9月19日（金）14:30～15:40

講 師：田澤 雄作 氏 国立療養センター仙台医療センター 小児科医

演 題：長時間のテレビ・ゲーム・携帯は脳を傷つける

～学力・スポーツ力・コミュニケーション力を奪う～

- 子育てに関する家庭環境や子どもたちのゲームとの関わり方など本校の課題をもとにテーマを設定した。
- 祖父母参観時に4年生以上の親子で講演を聴き、親子で話し合う時間を設定した。
- 診療例を子どもの表情の変化を中心に実際に写真で提示しながらの話は、子どもたちにとって分かりやすいものであり、心に響くものとなった。また、親だけでなく祖父母の参加者たちにとってもこれまでの子育て・孫育てを大いに反省する機会となった。
- 親を交えての話し合いでは、ゲームの時間を減らすという児童が多く見られ、家庭に帰ってからも親子でゲームの時間について話し合った家庭が多かった。
- 講演会后、今まで学習に集中できなかった子が少しずつ集中できるようになってくるなど学習態度に変化が見られた。
- 子どもがテレビゲームや携帯ゲームに触れ始める時期に今回のような講演が行えると効果的であると思われる。

親子の学び応援講座について

◇質疑・感想等

- 2つの講座とも運営がスムーズであり、聴講のマナーもよかった。
- 現代社会の課題がテーマであり、親子で話題にできることや地域に広める工夫がありよかった。
- 多くの人たちに聞かせたい内容であった。
- 著作権の問題があるが、DVDなどにし保護者が集まる機会を捉えて広めるなどの方法も考えられる。
- メディアとの関わりは大きな問題となっており、地域のルールを決めて使わせていく必要があるのではということが話題となったこともあった。
- 祖父母の参加が帰宅後の子どもの生活に生きてくる。祖父母参観を行っていたので、講演会にうまくつなげるとよかった。
- 親の生活リズムに子どもが引きずられている。親に対して祖父母が意見できないところもある。
- 天栄村でのノーメディアデーの取組は、中学校主導ではじまり、各小学校で実態に合わせて家庭と連携しながら取り組んでいる。継続して取り組んだことで保護者の意識も変わってきた。
- 家庭で約束事を決めて実行させることは有効な方法である。また、青色LEDの睡眠に与える影響には驚かされた。取組を分析したデータなどをもとにさらに広げていけるとよい。
- ノーメディアではなくメディアコントロールという考え方で取り組んでいる地域もある。
- 講師の選定・確保が難しい。早い時期に依頼があれば対応しやすくなる。

課題解決に向けての県中地区の取組について

◇アドバイザーより

- 子育てについて関心の低い親や保育園の建設に反対する方もいるなど、子育ての環境は厳しいものがある、子どもについて真剣に考え地域との連携を大切にし、地域力を高めていくことも本会議としての使命を持っている。

地域家庭教育推進県中ブロック会議からの提案について

◇事務局より趣旨と内容説明

- 多くの時間をかけて明らかにしてきた課題であり、解決のために県中ブロック会議としてなにかアクションを起こし、積極的に働きかけていくことが大切である。
- 県中地区の課題解決のキーワードである「コミュニケーション」を柱に生活習慣を意識した内容のリーフレットを作成し、広く呼びかけていく。
- 内容としては、「子どもたちのために大人から」の取組を呼びかけ、「あいさつ」や「睡眠」「朝食」「ふれあい」といったものとした。
- 活用方法としては、各地区のPTA連合会の理解と支援をいただき、各校のPTAと連携を図って呼びかけていきたい。

◇協 議

- 印刷して配布しただけでは、一度見ただけで終わってしまい有効な取組とはならない。我が家の取組を記入する欄がある参加型のものやカレンダーなどを組合せ常時目につくようなものにするなどの工夫があるとよい。
- 公民館から配布してもらうなど地域へも発信していきたい。
- PTA向け、地域向けの区別があるとよいのではないか。
- 何に取り組むのか我が家の取組が焦点化できるようにすることで、実践につながるのではないか。
- すべて大切なものであるが、実践にあたっては重点的に取り組めるようなものとしたい。
- メール一斉配信やホームページ等を活用し、重点的に取り組むものを月ごとに発信していくなどの方法もある。
- 様々な発信方法があるが、まずは学校からそして地域へという考え方ではどうだろうか。入学式やPTA総会等で紹介してもらいPTAから地域へ広めていきたい。また、推進委員が積極的に関わっている団体等に広めていくこともできる。

PTAと連携した取組について

◇事務局より趣旨と内容説明

- 今年度よりスタートした「地域でつながる家庭教育応援事業」は、PTAと連携を図りながら家庭教育を推進していくことが事業の大きな柱の一つとなっている。PTAと連携を図る一つの方法として「家庭教育応援プロジェクト（県中版）」を作成し、活用をお願いすることで県中地区の課題解決や親子の学びへの支援をしていきたい。
- 内容としては、「家族でコミュニケーション」と「家庭教育講座でコミュニケーション」の2つからなり、「家族でコミュニケーション」は、これまでも各PTAで取り組んでいた「早寝早起朝ごはん」や「楽しい子育て全国キャンペーン」「十七字のふれあい事業」などについてもう一度意識しての取組を呼びかけるもの。「家庭教育講座でコミュニケーション」は、親の学びを支援するために実践を伴った講座の開催を呼びかけるとともに県の事業である「親子の学び応援講座」の活用を呼びかけるものとなっている。

◇協 議

- 「親子の学び応援講座」は、各PTAにとってありがたい事業である。PTA連合会や各PTAに事業内容が知らされると取り組むPTAも増えるのではないか。
- 予算等の制約があり、次年度活用できるPTA数は限られてくる。
- ほかのPTAでの実践の情報があると自分たちの実践に生かすことができるので、コンテストなどを開催し実践事例を集めてはどうか。
- 今年の実践を紹介することで取り組むPTAも増えるのではないか。よい結果ができれば尚更である。
- やらされる感があると取り組みにくい。楽しくできる工夫があるとよい。
- PTA連合会の役員会に持ち帰って話をしたい。

情報提供 義務教育課「学力向上のための『つなぐ教育』について

つなぐ教育とは

子どもたちをとりまく学校、家庭、地域が課題を共有し、その解決に向け、それぞれの取組と取組をつなぎ、夢の実現や未来を担う人材を育成する。

「みんな（学校、家庭、地域）で子どもたちを育てていく教育」

今年度の県中地区内事業推進地域

天栄村 拠点校：天栄村立天栄中学校

推進協力校：天栄村立広戸小学校、大里小学校、牧本小学校

小野町 拠点校：小野町立小野中学校

推進協力校：小野町立飯豊小学校、浮金小学校、小野新町小学校、夏井第一小学校

学校と学校をつなぐ

- 幼稚園、小・中学校の教員が互いの授業を見合い指導方法について意見交換
- テレビ会議システムを活用しての授業交流

学校と家庭をつなぐ

- 小中学校同一歩調での家庭学習・生活習慣について実践を行っている。
- 幼・小・中で同じくノーメディアデーへの取組を行う。

学校と地域をつなぐ

- 家庭だけでなく地域にも呼びかけて実践を行っている。
- PTA連合や地域の団体とも積極的に関わっている。

大切なこと

- 様々な取組を地域全体で行うことが大切。
- みんなが同じ方向を向いて子どもたちを育てていくことが大きな力となる。

情報提供 家庭教育応援企業推進活動について

○多くの企業が子育て支援への取組をしている。家庭教育の推進に協力的な企業の情報をいただきながら、今後も個別に働きかけて行く予定である。

諸連絡

○本事業は3年継続のものであり、次年度以降もブロック会議を開催していく。次回の内容としては、今回協議いただいたPTAと連携してすすめる取組についての実施状況や課題等について予定している。

